

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成30年3月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:109)
2. 調査実施時期 平成30年3月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:97社 / 回答率:89.0%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
H29.6	-11	-24	-22	-	-	-
H29.9	-	-23	-20	-22	-	-
H29.12	-	-	-42	-42	-47	-
H30.3	-	-	-	-27	-39	-43

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
当年	163,061	145,319	128,115	-	-	-
(前年)	171,353	153,073	137,052	163,819	163,061	145,319
対前年比	95%	95%	93%	-	-	-

(概況)
原木在庫は依然として小径木を中心に前年を下回る水準にあり、今後も引き続き前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
小径木が不足/全道域で非常に不足している状況/在庫は昨年の60%/木材の需要はあるが、それを満足させるだけの原木の入荷がない。入札の物件数を増やしてほしい

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
H29.6	-3	-5	-4	-	-	-
H29.9	-	7	0	-8	-	-
H29.12	-	-	9	-1	-6	-
H30.3	-	-	-	2	-6	-2

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
当年	218,172	216,811	214,410	-	-	-
(前年)	207,596	209,713	203,086	188,783	218,172	216,811
対前年比	105%	103%	106%	-	-	-

(概況)
荷動きは前年を上回っているが、今後は前年並みの水準となる見通し。

(回答企業の主なコメント)
製品需要は春先にたるみはあるが底堅い/製品は例年並みの動きで推移すると思う/順調に生産している事もあるが深刻な原木不足/前年度より荷動きは低調

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
H29.6	-15	-33	-29	-	-	-
H29.9	-	-18	-22	-16	-	-
H29.12	-	-	-61	-63	-59	-
H30.3	-	-	-	-55	-57	-57

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
当年	239,167	220,462	173,281	-	-	-
(前年)	245,850	236,551	203,646	231,761	239,167	220,462
対前年比	97%	93%	85%	-	-	-

(概況)
原木在庫は依然として前年を大きく下回っており、今後も引き続き前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
前年に比べ原木の入荷が少なく4・5月の入荷量が心配/原木集荷は雪の影響で多少ロスはあるがまずまず順調、在庫はまだ少ないので積み増したい/入荷はぼなし

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
H29.6	14	-3	0	-	-	-
H29.9	-	6	2	-6	-	-
H29.12	-	-	26	20	6	-
H30.3	-	-	-	4	5	2

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H29.4-6	H29.7-9	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9
当年	313,198	297,111	309,295	-	-	-
(前年)	302,936	288,325	304,286	293,447	313,198	297,111
対前年比	103%	103%	102%	-	-	-

(概況)
荷動きは前年を若干上回る水準となっており、今後も前年を若干上回る状況が続く見通し。

(回答企業の主なコメント)
製材の受注は変動が少ないと思われる/海外材情勢の変化により製品需要は旺盛だが、原料供給が追いつかない状況が長期化している/昨年に比べラミナ材は減、梱包材は増